

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立朝酌小学校 ～

1. 概要

6月9日(火)、松江市立朝酌小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。最初に朝酌小学校の校区内の遺跡や『出雲国風土記』に書かれていたことから、朝酌がかつてどのようなところだったのかを埋蔵文化財調査センターの職員から話を聞きました。そのあとは朝酌町や西尾町の遺跡から出土した土器やガラス玉を観察しました。普段触れることのできない土器を前に児童は積極的に観察しました。

授業の後半は遺跡の見学に行き、魚見塚古墳や朝酌矢田Ⅱ遺跡、旧朝酌小学校校庭古墳などを巡りました。周辺に遺跡がたくさんあり、県内の重要な遺跡が残っていることを知りました。

2. 様子

1) 朝酌小周辺の遺跡について理解を深める。 本物の遺物に触れてみる。



「かつての朝酌はどんなところだったのかな？」

2) 朝酌矢田地区の遺跡・古墳めぐり



「石室の中に入ってみたよ！」



「近くにこんなにおおきな古墳があったんだ！」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

魚見塚古墳がとてもすごいリーダーがねむっているんじゃないかということがおどろきでした。

魚見塚古墳が出雲東部では最大級ということがびっくりしました。こんなにも身近に遺跡や古墳がいっぱいあるんだなとびっくりしました。

朝酌公民館の古墳に入る所が心に残りました。

朝酌にも遺跡がたくさんあったり、ここにしかないというところもあってうれしく感じました。

実際に発くつをしているところをみてみたい。

他の古墳や遺跡にも見学してみたいなと少し思いました。

2) 担任の先生から…

教科書や資料の写真でしか知らなかった遺物の実物に触れ、体感できてよかったです。

教科書で学んできた古代の日本の様子が、自分たちの校区にもあったことを知り、地域をより好きになるきっかけになったと思います。

大変ていねいな説明と遺物の準備等ありがとうございました。

3) 埋文センターから

社会の授業では弥生時代まで勉強していたようなので、すこし先取りではありますが、縄文時代から奈良時代までの朝酌小校区内の遺跡について紹介しました。朝酌小周辺には文化財や遺跡が多く残されており、興味・関心が高い児童が多く、積極的に授業に参加してくれました。